

2002年7月25日

電気学会 会長 殿

財団法人鹿島学術振興財団

会長 鹿島 昭



2002年度研究助成候補者（自然科学関係）
推薦依頼について

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当財団は、昨年度に引き続き別紙「2002年度研究助成募集要項」により研究助成の候補者を募集いたすことになりました。

つきましては、貴学会関係で該当候補者がございましたならば、2002年11月20日までに所定の書類（研究助成申請書）を添えて、下記の点をご留意の上、ご推薦頂きたくご依頼いたします。

記

1. 推薦は、他のご依頼した学会と共同でされても差し支えありません。
2. 推薦の研究助成は、個人研究よりも共同研究の方が望ましく、研究代表者は、大学又は公共の研究機関に所属している研究者にしてください。
3. 募集要項に記載のとおり、2002年度の助成予定金額は、4,000万円となっておりますが、2001年度からの継続援助の希望がありますので、2002年度の新規採択はある程度圧縮されることが予想されます。
4. 2001年度の実績は、自然科学、人文・社会科学関係両分野を含めて採択件数24件、金額にして3,900万円です。
5. 所定の書類をご入用の場合は、事務局へお申し越してください。
6. 本件に関するお問い合わせは、事務局へお申し越してください。

住 所 〒107-8502 東京都港区赤坂 6 - 5 - 3 0
TEL (0 3) 3 5 8 4 - 7 4 1 8
 (0 3) 5 5 6 1 - 2 0 1 5
FAX (0 3) 5 5 6 1 - 2 0 1 6

以 上

2002年度*

鹿島学術振興財団研究助成募集要項

1. 助成の趣旨

我が国学術の発展並びに学術の国際交流を図るため、都市・居住環境の整備及び国土・資源の有効利用および文化的遺産・自然環境の保全等による国民生活の向上に寄与する研究に対して助成を行い、我が国学術の向上進展に寄与しようとするものであります。

2. 助成対象分野

助成の対象となる研究分野としては、上記の趣旨に関連した研究として、

(1) 都市・居住環境の整備

- ・都市並びに居住環境の向上
- ・災害・公害の防止
- ・交通・輸送能力の向上

(2) 国土・資源の有効利用

- ・国土の有効利用と保全
- ・海洋の利用と保全
- ・水資源の確保と有効利用
- ・エネルギー及び資源の有効利用，輸送，貯蔵
- ・廃棄物の処理と再資源化

(3) 文化的遺産・自然環境の保全

- ・文化的遺産の保全
- ・自然環境の保全

などがあります。

※ この研究助成は、2002年度中に募集、選考、決定が行われるものでありますが、その研究の実施は2003年4月から2004年3月までに行われるものであります。

3. 助成対象研究者

上記対象分野に関する研究を行う研究者又は研究グループとします。特に学際的組織で行われる研究が望まれます。

4. 助成金額と期間

1) 総 額 4,000万円（1か年間）

1件当たりの助成金は、継続期間の分も含めて合計300万円以内とします。

2) 助成期間は原則として2ヵ年以内とします。

ただし、当財団は単年度予算で運営されますので、2年目以降については中間報告書の提出を求め、改めて内容を審査のうえ、その都度決定いたします。

5. 助成金の使途

助成金の使途には、研究に必要な設備備品費、消耗品費、謝金、旅費、印刷製本費等を含めることができます。

なお、設備備品費はおおむね総額の30%を越えないものとし、また応募した研究の実施に直接必要なものに限ります。

6. 報告の義務

助成金の受領者には、助成期間終了後、研究の経過・結果及び会計について当財団に報告していただきます（別に定める様式による）。

助成を受けた研究成果の発表は自由ですが、特に方法をきめて発表をお願いすることがあります。

7. 推薦者及び推薦手続

推薦者は、自然科学の分野においては特定の学会の代表者、人文・社会科学の分野においては特定の大学の学長又は学部長等とし、所定の用紙に必要

事項を記入し当財団宛に送付していただきます。

8. 推薦締切期日

2002年11月20日(水)

9. 選考方法

選考は当財団の選考委員会において行い、理事会で決定いたします。

なお、選考に際して面接の上、御説明を頂くこともありますのでお含みおきください。

10. 助成の決定

2003年3月の予定

2002年度推薦依頼先

学 会（自然科学関係）

空 気 調 和 ・ 衛 生 工 学 会

計 測 自 動 制 御 学 会

電 気 学 会

地 盤 工 学 会

土 木 学 会

日 本 音 響 学 会

日本オペレーションズリサーチ学会

日 本 海 洋 学 会

日 本 化 学 会

日 本 火 災 学 会

日 本 機 械 学 会

日 本 建 築 学 会

日 本 生 態 学 会

日 本 都 市 計 画 学 会

農 業 土 木 学 会

2002年度推薦依頼先

学 校（人文・社会科学関係）

- 東 京 大 学 法学部長
 〃 経済学部長
 〃 文学部長
 〃 教養学部長
 〃 社会科学研究所長
 〃 社会情報研究所長
 〃 史料編纂所長
 〃 東洋文化研究所長
- 京 都 大 学 文学部長
 〃 経済学部長
 〃 法学部長
 〃 経済研究所長
 〃 人文科学研究所長
 〃 東南アジア研究センター長
- 一 橋 大 学 学 長
早 稲 田 大 学 学 長
慶 應 義 塾 大 学 学 長
学 習 院 大 学 学 長

鹿島学術振興財団2002年度研究助成申請書

2002年 月 日

注：この研究助成は、2002年度中に募集、選考、決定が行われるものであるが、その研究の実施は2003年4月から2004年3月までに行われるものである。

財団法人 鹿島学術振興財団

会長 鹿島 昭一 殿

代表者(申請者)		①
慣用のローマ字名		
現職		
英訳名 (大学・学部・研究所等)		
最終学歴・学位		
生年月日		
所属機関(組織)名 (大学・学部・学科等)		
所属機関(組織)所在地	(〒 -)	電話
自宅住所	(〒 -)	電話

下記のとおり貴財団の助成を申請いたします。

記

1. 研究課題

研究課題名 (内容を具体的に示す課題を記載)
英文課題名

注：ワープロ、黒インク、黒ボールペン等で明瞭に記入のこと。

2. 研究形態

研究の形態 (該当するものを○印でかこむ)	個人研究	共同研究 (名)	国際共同研究 (名)
--------------------------	------	-----------	-------------

注①：共同研究者数を () 内に記載のこと。注②：外国で開催されるシンポジウム等に出席するための外国旅費を得ることを主な目的とするものは、この研究助成の対象外とする。

3. 研究期間

全研究期間 (他財源による研究期間を含む)	自	年	月	至	年	月	年間
--------------------------	---	---	---	---	---	---	----

4. 申請金額

2002年度 助成申請金額	百万			千			円
---------------	----	--	--	---	--	--	---

5. 当財団年度別助成希望額

2002 年 度			百万			千		円
2003 年 度								
合 計								

注：原則として2ヶ年以内とする。ただし、当財団は単年度予算で運営されるので、2年度以降は中間報告書の提出によりあらためて内容を審査し、その都度採否・金額を決定する。

6. 継続申請

助成継続希望の有無 (該当するものに○印)	有	無
--------------------------	---	---

7. 本研究に要する総経費

本研究全体に要する 全研究費の財源区分	年 度 別 年 月～ 年 月 (年度)	金 額					
			百万		千		円
	年 月～ 年 月 (年度)						
	年 月～ 年 月 (年度)						
	年 月～ 年 月 (年度)						
	年 月～ 年 月 (年度)						
	年 月～ 年 月 (年度)						
	年 月～ 年 月 (年度)						
	年 月～ 年 月 (年度)						
	年 月～ 年 月 (年度)						
	計						

注：当財団及びその他の財源について今後必要とする財源を全て記載のこと。

8. 当財団以外の機関の助成

8-1 代表者又は共同研究者が本研究に関連して他の機関に助成を申請した場合は、その旨を記載してください。

申請先の 機関名	研究費等の名称	代表者氏名	研究課題	申請金額	助成期間
					自 年 月 至 年 月

8-2 代表者又は共同研究者が本研究に関連して他の機関から既に助成を受けている場合は、その旨を記載してください。

機関名	研究費等の名称	代表者氏名	研究課題	助成金額	助成期間
					自 年 月 至 年 月

連絡責任者

(ふりがな)
氏 名

連絡先 (〒 -)

電話
内線

本機関所属の上記代表者が貴財団の助成を申し込むことを承諾いたします。

機 関 名

機関長職名・氏名

職印

機関所在地 (〒 -)

2002年 月 日

注：機関長は、大学の場合は学長、学部長、研究所長のいずれかとし、その他の研究所等の場合は所長等とすること。

13. 2002年度分申請助成金の使途内訳（使途別に具体的に記入）

使 途 別	数 量	単 価	計		
			百万	千	円
設備備品費					
小 計					
消耗品費					
小 計					
旅 費					
小 計					
謝 金					
小 計					
印刷製本費					
小 計					
そ の 他					
小 計					
合 計					

注：設備備品費の額は、申請助成金額の30%を超えないものとする。

14. 本研究の代表者及び共同研究者リスト

研究者	(ふりがな) 氏名	最終学校・専攻	年齢	所属機関・現職・学位 (大学・学部・学科等)
代表者				
共同研究者				

鹿島学術振興財団2002年度研究助成候補者推薦書

2002 年 月 日

財団法人 鹿島学術振興財団
会 長 鹿 島 昭 一 殿

研究課題

研究代表者氏名・職名

上記研究者を研究助成候補者として推薦いたします。

組織（機関）名

職名（機関長）・氏名

職 印

組織（機関）所在地（〒 — ）

電話

注：推薦者は自然科学の分野では、特定学会の会長，人文・社会科学の分野では、特定大学の学長，学部長，研究所長のいずれかとする。